

# News Release

## 島根県江津市と大丸松坂屋百貨店が包括連携協定を締結

島根県江津市と大丸松坂屋百貨店（以下、当社）は包括連携協定を締結し、4月23日（木）江津市役所にて江津市長 中村中様と当社代表取締役社長 宗森耕二による締結式を行いました。



左から江津市長 中村中様、大丸松坂屋百貨店代表取締役社長 宗森耕二

### 協定の目的

今回の包括連携協定は、江津市と当社が連携・協力し、地域資源の活用およびデジタル技術を取り入れたシティプロモーションの推進を中心に、地域活性化および持続可能なまちづくりに取り組むことを目的としています。

### 連携事項

・「地域の活性化」に関する分野では、江津市が有する地域資源や伝統文化と、当社の企画・発信機能および関係人口の創出に向けた取り組みを共同で推進します。デジタル技術を取り入れたシティプロモーションを推進します。

・「市民サービスの向上」に関する分野では、当社が百貨店事業で培った企画力・発信力を活かし、デジタル技術や新たな顧客接点の創出を通じて、市民の皆様の利便性向上や価値創造に資する多様な取り組みを展開します。

※具体的な事業の実施に当たっては、両社による協議の上で決定してまいります。

### 協定締結の背景と今後の展望－締結式出席者挨拶要旨－

・江津市長 中村様ご挨拶要旨

大丸松坂屋百貨店とメタバースを活用した石見神楽の発信など、これまでにない手法による取り組みを行ったことは、多くの方に江津市の文化に触れていただく機会を創出し、地域文化とデジタル技術の融合による新たな可能性を示すものとなっている。本協定を契機として、リアルとデジタルを融合した取り組みをさらに発展させ、持続可能で魅力ある街づくりを着実に進めていきたい。

・当社代表取締役社長 宗森挨拶要旨

当社は「価値共創リテラー」を目指している。これまで江津市のみならずとも進めてきた取り組みは、地域で育まれてきた文化や暮らしの延長線上にあり、この取り組みをさらに深めて、小売りの分野のみならず、文化、観光、教育、福祉などさまざまな分野において貢献したい。

当社は本協定を契機として、リアルとデジタルを融合した取り組みをさらに発展させ、江津市の魅力をより多くの方にお届けし、江津市の活性化とお住いのみなさまのサービス向上に貢献することを目指します。

## 「石見神楽メタバース化プロジェクト」とは

島根県西部の石見地方に伝わる伝統芸能である「石見神楽」のメタバース化を江津市と協力して制作し、VRChat内で世界中の方に体験いただく取り組みです。

30種類以上ある石見神楽の演目の中から2つの演目をメタバース化しており、「大蛇（おろち）」では、演目の一部、須佐之男命（すさのおのみこと）と八岐大蛇が対峙する場面をメタバース化し、VRChat内のワールド「島根県江津市石見神楽『大蛇』 / Gotsu City, Shimane Prefecture IWAMI KAGURA“OROCHI”」にて2025年5月から公開。ワールド公開から約1週間で1万visitを達成するなど、多くの方々に体験いただいております。



また、「鍾馗（しょうき）」の中で「鍾馗」と「疫神（えきしん）」が着用する衣装を3D衣装化し、BOOTH「大丸・松坂屋アバター販売公式」内にて無償配布。石見神楽の世界観を楽しんでいただいております。

この取り組みは、昨年10月一般社団法人Metaverse Japanが第5回XR・メタバース総合展【秋】内にて開催した「Japan Metaverse Awards 2025」においてMetaverse Japan Special Award / メタバースジャパン特別賞を受賞。

本年3月一般社団法人デジタルメディア協会（AMD）が主催する「デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'25 / 第31回 AMDアワード」において「リージョナル賞」を受賞しています。

ご参考：石見神楽メタバース化プロジェクトPV

<https://www.youtube.com/watch?v=QJenoBrK8XU>

※外部サイトに遷移します。

<大丸松坂屋百貨店 メタバース事業に関するお問い合わせ先>

大丸松坂屋百貨店メタバース事業（下記サイト内お問い合わせフォームよりお問い合わせください）

<https://www.daimaru-matsuzakaya.com/business/metaverse/>

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

大丸松坂屋百貨店 広報担当 杉谷・金子・田村・長野 E-mail : [kouhou@jfr.co.jp](mailto:kouhou@jfr.co.jp)

